

# 仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

## BUTSUJI-COORDINATOR

昭和堂佛具店（岡山）

### 「差別化・サービスの強化に活用」

#### 常盤和也氏 常盤真人氏

創業八十有余年を数える昭和堂佛具店は岡山市内に店舗を構え、古くから多くのお客様に親しまれてきた。

今回、取材に御協力頂

いたのは店主の常盤和也氏（三代目）、後継者の真人氏（28歳）の二人。真人氏は下関市立大学（経済学部）を卒業後、京都の吉田治市商店で三

年間の研修を受け、同店の経営に携わるようになった。研修では寺院佛具を深く学べたことが大きな財産になっていると真人氏は話す。

和也氏と真人氏は昨年（平成24年）、大阪会場で仏事コーディネーター資格試験を受験。資格取得後は積極的な活用を心がけており、自社ホーム

ページでの紹介、店内には仏事コーディネーターの認定証と、仏壇公正取引協議会のステッカーを配置し、PRに努めている。「岡山市内には競合

店が多く、差別化に役立てれば」「信頼を得るためには資格はプラスになっていきます、御寺院様が来店されたときも資格に興味を抱かれました」



左から常盤和也氏 常盤真人氏（昭和堂佛具店）



お線香の展示（昭和堂佛具店）



仏壇仏具の展示（昭和堂佛具店）



店舗外観（昭和堂佛具店）

と和也氏は話す。さらに「資格を持つている以上は間違ったことを言えませんで常に学習を心がけるようになりました」と真人氏は話す。

岡山市内は真言宗が多く、同店の取り扱いは唐木佛壇が大半を占める。売筋サイズは16号〜20号、近年、上置サイズ、都市型仏壇も需要が増えているという。唐木佛壇の洗濯修理も行っているが、国内の外注に依頼、リーズナブルな料金と丁寧な仕上がり好評。店舗は一階がショールーム、二階・三階が倉庫と住居、常時、約40本の佛壇を展示。宣伝広告については、自社ホームページが中心、紹介・口コミの割合も多い。自社ホームページでは佛事に関するQ&Aを掲載、仏壇仏具ガイダンスや日々の実践で培った体験が存分に活かされている。